

第2次世田谷区立図書館ビジョン ～子どもにもっと本を、もっと夢を～ 素案 《概要版》

基本理念

知と学びと文化の情報拠点

図書館の公共性の観点に立ち、子どもが本に親しみ、豊かな精神的成長を助けるとともに、大人の知的欲求と学習意欲に応えます。さらに読書活動や地域文化の情報収集と発信を通じて世田谷の魅力を見出し、それらの活動や文化の担い手となるコミュニティの醸成につながる交流の場所、地域に開かれた知的な居場所をめざします

4つの視点

知と学び

図書館は、世代や社会的な立場、障害の有無を問わず、誰もが本を中心とした資料を通して知識や情報を学ぶことのできる機関です。この図書館の本来のあり方を大切にしながら、区民の求める知識や情報に触れる機会を提供し、総合的な学びを支援します。

子ども

図書館は、子どもたちにとって、「外の世界につながる窓」となる本のある場所です。本を読む楽しみとともに、それぞれの年齢に応じた本との出会いを助け、これからの社会を担う子どもたちが豊かに成長していく環境を整えます。

地域文化

図書館は、本を収集・保存・公開することで新たな知識と文化の創造を支えてきた機関です。図書館の持つこの創造性を改めて見直し、文化や芸術、まちづくり等、地域における様々な活動に関する情報を収集・発信することで、地域文化の充実・発展を支えます。

コミュニティ

図書館は、多様な人々が知識や情報を求めて集まり、時間と空間を共有しながら、各々に過ごす場所です。誰もが気軽に訪れることができ、居心地よく過ごすことができる図書館を基本としながら、利用者コミュニティを醸成するための取り組みを行います。

施策展開の柱(基本方針)

事業方針(図書館サービスの方向性を示す施策体系)

0歳児からの読書を支える図書館

- (1)子どもが本に出会う機会をつくる
図書館による子どもの読書を支援する取組みの拡充
地域・民間団体と協働した子どもの読書を支援する取組みの推進
- (2)子どもサービスの拠点をつくる
子どもサービスの推進に向けた資料・組織の充実
子どもの読書活動に関わる人材の育成
- (3)充実した学校図書館づくりを支援する
学校図書館に関わる人材の育成
地域との連携を深める取組みの推進
学校図書館に対する支援と体制の確立

事業イメージ

「赤ちゃんに絵本を」
(ブックスタート事業)
子ども図書館の検討
学校図書館の運営体制の充実

世田谷の魅力を収集・発信する図書館

- (1)世田谷の地域活動の情報を集める
地域文化、まちづくり等の区民活動 に関する資料の収集
他機関と連携した資料情報の集約
- (2)世田谷の魅力を広く伝える
図書館の取組みに関する情報発信
世田谷の魅力(世田谷らしさ)の発信
- (3)新しいメディアでの資料収集・公開を進める
資料の電子化と公開に向けた検討
電子的な資料の収集・公開に関する検討

事業イメージ

他機関の所蔵する資料情報の集約・公開
デジタルアーカイブの構築
電子書籍の検討

大人の学びを豊かにする図書館

- (1)多様な学びの機会をつくる
資料の充実と区民と情報をつなぐサービスの推進
主体的な学びを促す事業の実施
- (2)お互いに学びあう機会をつくる
知識や情報を共有する事業の実施
学習成果の発信
- (3)地域で学びを活かす人材を育てる
読書や情報に関わるボランティアの育成
ボランティア活動等区民参画の促進

事業イメージ

ICタグ及び関連機器の導入
学習成果の発信機会の拡充
ボランティアの組織化

暮らしや仕事に役立つ図書館

- (1)区民の悩みや課題の解決を助ける
課題解決支援のためのサービスの拡充
地域文化活動を支援するレファレンス等の検討
- (2)人が集い、つながりを生む場づくり
利用者同士の交流を促す事業の実施
人が集うためのスペースの充実
- (3)地域で活動する団体との関係を築く
地域で活動する機関・団体との積極的な連携の推進
本を用いた地域文化活動に対する支援の推進

事業イメージ

レファレンスの強化・充実
交流スペースの充実
地域活動団体と連携した事業実施

運営方針(図書館サービスを実施するための体制や運営・管理のあり方を示す施策体系)

図書館ネットワークの構築

- (1)図書館ネットワークを整備する
図書館・図書館ターミナルの機能の充実
情報システムおよび設備・施設上の整備の推進
- (2)中央図書館の機能・組織を拡充する
中枢機関としての組織・機能の充実
子どもサービス拠点としての組織の充実
- (3)世田谷の教育・文化機関と連携する
区の教育機関・文化施設等との連携の拡充
町会・自治会や商店街等民間団体との連携の推進
本や読書に関する区民団体との連携の推進

事業イメージ

図書館情報システムの全施設への導入
図書館ターミナルの設置拡充
中央図書館の拡充

専門性と効率性を両立した運営体制の構築

- (1)今後の運営のあり方を検討する
ネットワークの中心となる中央図書館の運営体制の検証
ニーズに応じた多様な運営体制の検証
- (2)職員に必要なスキルと専門知識の向上を図る
職員の専門性向上に向けた取組みの強化
- (3)事業・運営の指針・目標を示す
定期的な事業の実施状況や運営状況の評価
評価への利用者の視点の取り込み

事業イメージ

運営への民間活力の導入
定期的なニーズ調査の実施